事業所名　　溝辺ともの家

作成日 ： 平成 26 年 12 月 10 日

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況（任意）
1	35	自然災害に対する避難計画を作成中であり、具体的な避難対策ができていない。	自然災害に対する避難計画を作成し、定期的に避難訓練を行う。	消防署や地域の方に協力してもらいながら、避難計画を作成するとともに、具体的なマニュアルに沿った訓練を実施する。防災頭巾を作成したので、避難訓練時に活用する。	6　か月	12/18運営推進会議に合わせ、消防署職員の指導の下、マニュアル作成を行う予定である。防災頭巾を作成し、避難訓練時に活かす。
2	2	地域との交流が少ない。	地域で生活していくための楽しみが持てるよう交流を図る。	民生委員との交流により、サロンに誘ってもらった。寒い時期は困難であるが、参加させてもらい、興味あることを増やす。	12　か月	日程を教えてもらったので、来年度より参加予定である。
3					か月	
4					か月	
5					か月	

事業所名　　溝辺ともの家
作成日：　　平成　26 年 12 月 10 日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容（↓該当するものすべてに○印）	
1	サービス評価の事前準備		①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
			②利用者へサービス評価について説明した
		○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（　　）
2	自己評価の実施	○	①自己評価を職員全員が実施した
			②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
			③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（　　）
3	外部評価（訪問調査当日）	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
			③対話から、事業所の努力･工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（　　）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	○	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		○	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他（　　）
		○	